

学術講演 プログラム案

特別講演

春日 雅人 (第31回日本医学会総会 会頭)
松本 吉郎 (日本医師会長)
門田 守人 (日本医学会長)
浅川 智恵子 (日本科学未来館 館長)
大隅 良典 (東京工業大学 荣誉教授)

尾身 茂 (結核予防会 代表理事)
津田 雄一 (JAXA 教授)
山中 伸弥 (京都大学IPS細胞研究所 名誉所長・教授)
Carl-Henrik Heldin (ノーベル財団 理事長)
堀 憲郎 (日本歯科医師会長)

井上 恵司 (東京都歯科医師会長)
住友 雅人 (日本歯科医学会長)
福井 トシ子 (日本看護協会会長)
山本 信夫 (日本薬剤師会長)
武田 泰生 (日本病院薬剤師会長)

会頭特別企画

- ビッグデータがどのように医療・医学を変えるか
- COVID-19に世界はどう対応したのか？どう対応するのか？
- COVID-19に日本はどう対応したのか？どう対応するのか？
- ヒトが生物学が教えてくれるもの 一次世代がん治療戦略の構築に向けてー
- 2024年の医師の働き方改革元年を翌年に控えて一課題と展望
- 2040年を見据えた地域医療構想—我が国の医療供給体制の課題と未来への提言
- 医療と臨床研究における患者・市民参画(PPI)
- COVID-19 ダイジェストセッション

柱1. ビッグデータがもたらす医学・医療の変革

- リアルワールドデータを用いた臨床研究・疫学研究
- AIが変える医学研究
- シングルセルレベルで身体・病態を理解する
- 顕微鏡ビッグデータは医学に何をもたらすか？
- ビッグデータとAIを活用したQOLの向上と健康寿命の延伸
- ゲノム医療がもたらす未来

柱3. 人生100年時代に向けた医学と医療

- 老化の本態解明と健康長寿
- 認知症診療の現状と展望
～アルツハイマー病の疾患修飾療法が現実味を帯びてきた中で～
- 高齢者医療における領域横断的なフレイル・ロコモ対策
- 少子化と子どもの健康—社会医学・看護系の視点から
- 小児期から成人期へ切れ目ない医療連携～トランジション診療について～
- 超高齢社会における生活習慣病のprecision medicine
—ゲノム医療などの観点から—
- 超高齢社会における生活習慣病対策—歯科の立場から
- 行動変容による疾病の予防と健康寿命の延伸 一改めて国民の心を動かすためには—
- 在宅医療・介護の制度改革およびテクノロジーの活用
—より良い地域包括ケアシステムに向けて
- 終末期医療の諸課題と各職種役割
- 健康長寿に関わるエビデンスの構築と医療政策への応用
- 人生100年時代の社会情勢の変化と労働環境の変容に対応した産業保健の変革

柱5. パンデミック・大災害に対抗するイノベーション立国による挑戦

- 社会的システムとしての救急・災害医療—レジリエンスを高めるシステムの検討
- ポストコロナの保健医療システムの在り方
- パンデミック感染症や災害に対する医学・医療環境の構築
- 感染症予防の究極的手段としての予防接種
- 社会からの隔絶「ソーシャルディスタンス」の医学
- COVID19をめぐるコミュニケーションの諸相

日本歯科医師会企画

- 周術期対応における医科・歯科連携にどう取り組むべきなのか
- 医科と歯科が連携したこれからの摂食嚥下障害対応

柱2. 革新的医療技術の最前線

- 人工組織・オルガノイド・細胞エンジニアリングの医療応用
- 臓器代替技術の現状と新展開
- 分子標的治療の現状と未来
- がんの抗体・免疫細胞治療
- 脳情報の解読に基づく脳神経疾患の治療戦略
- 免疫学が変えた医療
- 多臓器間ネットワークの理解に基づく医療応用
- 生体膜バイオロジーの医学・医療への応用
- トランスポーター創薬～生理機能から治療へ～
- 腸内細菌から見た新たな健康と医療
- 生殖機能障害と不妊症・不育症治療の現在と未来
- 難病に対する遺伝子治療の推進
- 工学的センシング技術を駆使した新たなバイオマーカーの開発
- 未来の手術機具・医療機器・ロボティクスデザイン
- 遠隔診断・モニタリングの実現に向けた医工連携技術
- liquid biopsyがもたらす可能性と課題

柱4. 持続可能な新しい医療システムと人材育成

- 持続可能な開発目標(SDGs)とグローバル・ヘルス
- 医療人の働き方に関わる諸課題とその対策
- 医療人の教育の現状と今後の在り方
- 医療・介護の経済・財政的課題の改善に向けて
- 医工連携・融合に向けた教育改革・環境整備
- 今日の臨床・研究におけるELSI(Ethical, Legal and Social Issues)
- 安全への先行的アプローチ

ダイバーシティ推進委員会・U40委員会企画

- 男性医師の育児休業の在り方～男性医師は取得すべき？
- 各大学・地域におけるダイバーシティの取り組み
- 各学会におけるダイバーシティの取り組み
- 日本学術会議の提言から、将来に向けた医学研究評価のあり方について考える
- デジタルヘルスケア(主に治療アプリ)が健康にもたらす役割
- それぞれの最前線でCOVID-19と戦った先生方に聞く、次世代の医学研究に向けて

日本歯科医師会企画・市民向けセッション

- 人生をもっと楽しくもっと豊かに、お口の健康がもたらす健康寿命の延伸

他多数

取得可能単位について

単位の取得については以下の通りです。詳しくはWEBサイトの”取得可能な単位について”でご案内しております。

単 位	現地参加	サテライト会場 ※1	WEB参加		単 位	現地参加	サテライト会場 ※1	WEB参加	
			LIVE配信	オンデマンド配信				LIVE配信	オンデマンド配信
日本医学会分科会 研修単位(93学会) 例:日本内科学会,日本外科学会,等	○	○	○※2	○※2	日本医師会生涯教育制度 学習単位	○	○	○	×
日本医師会認定産業医制度 産業医学生涯研修単位	○	○	×	×	日本専門医機構専門医 共通講習 (感染対策,医療安全,医療倫理)	○	—	×	×
日本医師会認定健康スポーツ医制度 健康スポーツ医学 再研修単位	○	—	×	×	協力機関 例:日本看護協会,日本薬剤師研修センター等	○	○	○	○
日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修単位	○	○	○	○	日本歯科医師会生涯研修制度 ※3	○	—	○	○

※1 全国各地に視聴会場を設けて、指定された会場で該当プログラムを視聴した場合は単位取得が可能となります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

※2 一部の分科会においては、WEB参加による単位について、該当する単位はございません。

※3 受講研修単位に加え特別研修単位が取得可能です。